

校種・教科等	高校・農業	通知番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

『高等学校 農業科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時 (50分)				
(2) 場 所 1年A組教室				
(3) 学年・学級 第1学年A組 (40名) 使用教科書 (農業と環境) 実教出版				
(4) 単 元 名 作物をとりまく環境とその管理				
(5) 指導する児童、生徒の状況				
【既習事項】				
<ul style="list-style-type: none"> 作物栽培において重要とされる土の役割については、前時の学習で理解している。 1学期当初の実習でトウモロコシの栽培を体験し、基本的な管理については理解している。 				
【単元のねらい】				
<ul style="list-style-type: none"> 作物栽培にかかわる環境の要素について理解する。 作物の生育と大気環境を理解する。 作物の生育を支える土の役割について理解する。 作物栽培に適した土壌環境について理解する。 				
【生徒の状況】				
<ul style="list-style-type: none"> 非農家出身の生徒が多く、今までに農作業経験の少ない生徒がほとんどである。しかし、栽培に関して興味・関心が高く、農場での実習に期待している生徒が多い。 自分の考えを表現することが苦手な生徒が多い。発問に対する答えも一部の活発な生徒に偏っている。 授業において、教員側の指示を十分理解できない状況がみられる生徒が数名いる。 現在農場では、ハクサイやダイコン等の栽培を行っている。 				
(6) 指導計画(全14時間)				
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	
第一次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○作物栽培と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培環境とその要素や農地や施設の整備について理解する。 ○作物の生育と大気環境 <ul style="list-style-type: none"> ・作物栽培を左右する気象・気候について理解する。 	一斉 グループワーク等	知識・技術	
第二次	(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○作物の生育を支える土 <ul style="list-style-type: none"> ・土の役割について理解し、土づくりの基本を身に付ける。 ・土壌有機物とその役割について理解する 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現
	(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○土の中の水と空気 <ul style="list-style-type: none"> ・土の三相について理解する。 ・単粒構造と団粒構造について学習し、作物栽培に適した土の構造について理解する。 本時：1時間 教科書：P115 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○土のpHとその改善 <ul style="list-style-type: none"> ・水素イオン濃度指数を理解する。 ・土の養分を保持する働きについて理解する。 ・土の塩類濃度について理解する。 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第三次 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○よい土の状態を保つために <ul style="list-style-type: none"> ・作物栽培に適した土の条件について理解する。 ○作物の養分と肥料 <ul style="list-style-type: none"> ・作物の生育にとって欠かすことのできない元素について理解する。 ・肥料の役割について学習し、肥料の成分量・施肥量の求め方を身に付ける。 ○作物をとりまく生物 <ul style="list-style-type: none"> ・作物をとりまく、生物群集や病害虫について理解し、総合的な作物の保護と環境保全に対する自らの考えを深め、実践する態度を養う。 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	

※ 教科独自に面接審査室に準備しているもの

なし

校種・教科等	高校・農業	通知番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

『高等学校 農業科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和5年〇月〇日 第〇校時 (50分)		
(2) 場 所	1年A組教室		
(3) 学年・学級	第1学年A組 (40名)	使用教科書	(農業と環境) 実教出版
(4) 単 元 名	作物をとりまく環境とその管理		
(5) 指導する児童、生徒の状況	<p>【既習事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作物栽培において重要とされる土の役割については、前時の学習で理解している。 1学期当初の実習でトウモロコシの栽培を体験し、基本的な管理については理解している。 <p>【単元のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作物栽培にかかわる環境の要素について理解する。 作物の生育と大気環境を理解する。 作物の生育を支える土の役割について理解する。 作物栽培に適した土壌環境について理解する。 <p>【生徒の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非農家出身の生徒が多く、今までに農作業経験の少ない生徒がほとんどである。しかし、栽培に関して興味・関心が高く、農場での実習に期待している生徒が多い。 自分の考えを表現することが苦手な生徒が多い。発問に対する答えも一部の活発な生徒に偏っている。 授業において、教員側の指示を十分理解できない状況がみられる生徒が数名いる。 現在農場では、ハクサイやダイコン等の栽培を行っている。 		
(6) 指導計画(全14時間)			
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○作物栽培と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培環境とその要素や農地や施設の整備について理解する。 ○作物の生育と大気環境 <ul style="list-style-type: none"> ・作物栽培を左右する気象・気候について理解する。 	一斉 グループワーク等	知識・技術
第二次	<ul style="list-style-type: none"> ○作物の生育を支える土 <ul style="list-style-type: none"> ・土の役割について理解し、土づくりの基本を身に付ける。 ・土壌有機物とその役割について理解する 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現
	<ul style="list-style-type: none"> ○土の中の水と空気 <ul style="list-style-type: none"> ・土の三相について理解する。 ・単粒構造と団粒構造について学習し、作物栽培に適した土の構造について理解する。 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ○土のpHとその改善 <ul style="list-style-type: none"> ・水素イオン濃度指数を理解する。 ・土の養分を保持する働きについて理解する。 ・土の塩類濃度について理解する。本時：1時間 教科書：P116 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第三次 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○よい土の状態を保つために <ul style="list-style-type: none"> ・作物栽培に適した土の条件について理解する。 ○作物の養分と肥料 <ul style="list-style-type: none"> ・作物の生育にとって欠かすことのできない元素について理解する。 ・肥料の役割について学習し、肥料の成分量・施肥量の求め方を身に付ける。 ○作物をとりまく生物 <ul style="list-style-type: none"> ・作物をとりまく、生物群集や病害虫について理解し、総合的な作物の保護と環境保全に対する自らの考えを深め、実践する態度を養う。 	一斉 グループワーク等	知識・技術 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

※ 教科独自に面接審査室に準備しているもの

なし